

Music for world peace
～音でつなげる国際協力～
報告書

目次

- 【1】はじめに
- 【2】開催概要
- 【3】開催主旨
- 【4】当日の様子
- 【5】展示会
- 【6】交流会
- 【7】広報活動報告
- 【8】募金について
- 【9】終わりに

決算報告書

【1】はじめに

多くの皆様のご理解・ご支援・ご協力の下、2009年8月15日に「チャリティコンサート Music for world peace ～音でつなげる国際協力～」を開催することが出来ましたことを、心より御礼申し上げます。イベントの様様を本報告書にて、報告させていただきます。

【2】開催概要

名称：チャリティーコンサート Music for world peace ～音でつなげる国際協力～

開催日時：2009年8月15日(土)12時開場、12時半開演～15時20分終演

(展示15時30分～17時)

開催場所：南大沢文化会館 2階 交流ホール(展示：B1階展示室)

入場料：500円(展示無料)

来場者：88人

プログラム

12:00 開場

Program No.1 オープニング

Program No.2 das Lied

Program No.3 ティアレ フラ スタジオ

Program No.4 当団体オリジナル企画

休憩

Program No.5 Do it your voice!

Program No.6 ダチョウズ

Program No.7 エンディング

<展示>B1階展示室

15:30～17:00

主催 国際協力団体PIECE×PEACE FESTA

協力 特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス

下村靖樹(写真提供)

アムネスティー・インターナショナル日本(資料提供)

ワールド・ビジョン・ジャパン(資料提供)

後援 外務省

八王子市

協賛 株式会社かざま不動産

株式会社マイソフト

森屋建設株式会社

有限会社ビー・オー・ティ

【3】 開催主旨

「戦争と子ども」に関する世界の現状が、自分たちと無関係ではないということを参加者に知ってもらい、自分達にできることを考えてもらう。

今世界で起こっている戦争に自分たちが全く無関係だということができるでしょうか？政治的な面や経済的な面、その他いろいろな要因で私たちは少なからずそれらに関与しています。本イベントでは、元子ども兵士に関わる事実など「戦争と子ども」に関わる世界の現状が、自分たちとは無関係ではないということを伝え、来場者には「自分に出来ることは何か」を考えてもらうことを目的として企画され、音楽という、誰にとっても親しみのあるものを通して伝えることで、より多くの人に参加してもらい、問題を身近に感じてもらいました。今世界で起こっている問題は自分たちに関係のあるものであるということを知ってもらい、また、今まで気付かなかった繋がりを意識することで「自分に出来ることは何か」を考えてもらえるようなイベントを目指し、開催いたしました。

【4】 当日の様子

Program No.1 オープニング

オープニングでは、「遠い国の戦争は日本に住む私たちには本当に関係がないのか？」という問いかけの映像を流し、代表挨拶を行いました。

Program No.2 das Lied

一組目には、首都大学東京のアカペラサークル das Lied のみなさんに演奏していただきました。背景には、その曲に合わせた映像を流し、その曲を歌うにあたって出演者が込めた想いをより伝えやすい工夫を行いました。力強い歌声で、来場者に強いインパクトと、感動を与えました。

演目①プラネタリウム

②歩いて帰ろう

③おかえり

④To U



Program No. 3 ティアレ フラ スタジオ

二組目には、ティアレ フラ スタジオのみなさんに出演していただきました。
フラという踊りには、手の動き1つ1つに、意味が込められています。
背景映像には、その踊りに込められた意味、そしてこのイベントの主旨に賛同してくださった出演者の方の想いをより伝えやすくするための映像を流しました。
また、曲の途中のMCでは、それぞれの国際協力への思いなども語っていただきました。

演目①アロハ オエ

②カイマナヒラ

③カ レファ プウノノ



Program No. 4 当団体オリジナル企画

オリジナル企画では、わたしたちの身近な物に潜む、戦争との様々な繋がり的事实をスキットとプレゼンテーションを通じて来場者に伝えました。どこにでもいるような大学生のストーリーを通じて、携帯やペットボトル、銀行など、日常生活のどこにでもあのような物が、実は戦争と繋がっているのだという事实を伝え、さらに、携帯からコンゴ紛争（子ども兵士問題）、ペットボトルからダルフル紛争（水資源の枯渇）、銀行からイラク戦争（教育問題）など一例をピックアップし、それぞれの戦争との繋がりについて、また被害状況について詳しく説明しました。



Program No. 5 Do it your voice!

三組目には、中央大学のアカペラサークル Do it your voice! のみなさんに演奏していただきました。背景には、その曲に合わせた映像を流し、その曲を歌うにあたって出演者が込めた想いをより伝えやすい工夫を行いました。二曲目の「終わらない世界」では、Do it のみなさんのパフォーマンスにより会場全体が大変盛り上がり、会場に一体感が生まれました。

演目①Love Love Love

②終わらない世界

③あなたと



Program No. 6 ダチョウズ

四組目には、八王子近郊で活動しているフォークユニット、ダチョウズのみなさんに演奏していただきました。背景には、その曲に合わせた映像を流し、その曲を歌うにあたって出演者が込めた想いをより伝えやすい工夫を行いました。さらに、このイベントのためにダチョウズのみなさんが作詞・作曲してくださった「プロペラ」というメッセージソングを歌っていただき、ダチョウズのみなさんのイベントや国際協力に対しての想いを伝えていただきました。

演目①大切なこと

②言葉にできない

③ひまわり

④プロペラ



Program No.7 エンディング

エンディングでは、会場全体で1つになり、同じ想いを共有しようという意味をこめて「We are the world」を合唱しました。



【5】 展示会

チャリティコンサート終了後、B1階展示室にて展示会を行いました。

展示会では、オリジナル企画で発表した戦争と私たちの繋がりにより詳しい内容や、私たちにできることの身近な例(インクジェットを集めて送るなど)を展示いたしました。来場頂いた方々の半数以上の55名の方に展示会に足を運んでいただき、展示室に設置した募金箱には33,764円が集まりました。



【6】 交流会

今回のイベント本番を迎えるにあたって、8月4日南大沢文化会館交流ホールにてリハーサルを行った後、同会館会議室にて出演者向けの交流会企画を行いました。この企画は、「戦争と子ども」についての事実を来場者だけでなく、出演者にも伝え、このイベントに関わることで、国際協力への一歩を踏み出せるようなきっかけを作るという意味を込めて行われました。

出演者同士をミックスした3チームに分かれて出演者同士の交流を深めるためのミニゲームから始まり、国際協力の基礎知識、子ども兵士に関する詳しい事実をクイズ形式で知ってもらい、最後には各チームの代表に「音楽を通じて自分にできる国際協力とは何か？」とのテーマで発表を行ってもらいました。



【7】 広報活動報告

広報活動実績

【ポスター】

・7月、B2サイズ40枚をカラー印刷

→中央大学、明星大学、首都大学、八王子学園都市センター、南大沢文化会館、文化会館周辺のコンビニや図書館など15ヶ所にて設置いたしました。

【チラシ】

・7月、A4サイズ1,000枚を両面カラー印刷

→中央大学、明星大学、首都大学東京、多摩美術大学、多摩福祉協議会福祉の家など8ヶ所に設置いたしました。

→8月7日～9日までの3日間、会場前で配布活動をいたしました。

→8月9日の中央大学オープンキャンパスにて配布活動をいたしました。

【web】

・7月より告知文掲載活動を開始し、mixi コミュニティ 40ヶ所、就活支援&イベント情報サイト GAQOO、国際協力 Station、八王子市まちなび、当団体ホームページにて広報活動を行いました。mixi コミュニティをご覧になった八王子市議会議員の鈴木レオさんがご来場くださいました。鈴木レオさんのブログにてイベントの様子が掲載されました。

【テレビ】

・八王子テレメディアが当日取材に来場され、日野ケーブルテレビでは、イベントの様子を近日放送予定です。

【前売り券】

・7月より1枚500円で受付。事前に前売り券として100枚分販売、当日、前売り券購入者より44名の方に来場していただきました。残念ながら当日来場されなかった方々の分も募金にさせていただきました。

【当日券】

・入場料500円で受付。43枚分販売、当日券として、44名の方に来場（幼児1名は無料）していただきました。

【パンフレット】

・200冊を印刷（表紙のみカラー）。当日、来場者、出演者の方々に配布いたしました。

【8】 募金について

本イベントで集まった募金総額は106,172円となりました。これは当日会場内に設置した募金箱に集まった33,764円と、前売り券、当日券を合わせた入場料、そしてイベント運営費を除いた収益金です。これらは、特定非営利法人テラ・ルネッサンスの元子ども兵士社会復帰支援プロジェクトに全額寄付いたします。

多くの方々のおかげでこのような募金額を集める事が出来、誠に感謝しております。皆様のご支援・ご協力、誠にありがとうございました。

【9】終わりに

このイベントは、例年行ってきたチャリティフットサル大会ではなく、チャリティコンサートという形で開催されました。それは、国際協力に全く関心がない人々にこのイベントに参加することで、国際協力に関心を持ってもらいたい、そしてそのためには老若男女問わず楽しめるエンターテイメントが必要であると考えたからです。そしてそのエンターテイメントにはただ楽しめるだけではなく、より深く心に訴えかける要素が必要でした。そのためにこのイベントは音楽という要素を持って企画されました。この企画を通して、来場者のみなさまはもちろん、出演者のみなさまにも「戦争と子ども」に関する事実、そして戦争と私たちの繋がりについて伝えることができました。本イベントに関わった全ての人々がこれからも国際協力に関心を持ち、新たな一歩を踏み出していただけたとしたら、私たちにとってこれ以上ない喜びです。

このようなイベントを開催することが出来たのは、多くの方々のご理解・ご協力あつてのことです。最後になりましたが、当日ご来場いただいた来場者のみなさまをはじめ、出演者のみなさま、そして協賛等していただいた企業各社の皆様、資料提供いただいた皆様等、ご協力いただいた全ての方々に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

国際協力団体 PIECE×PEACE FESTA は今回の活動を活かし、今度も様々な形でより多くの方々に「戦争と子ども」に関わる事実を伝え、国際協力への一歩を踏み出していただけるよう活動してまいります。今後とも、当団体の活動に、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

国際協力団体 PIECE×PEACE FESTA

本イベント代表 安田沙也加

E-mail:piece-peace-festa@hotmail.co.jp

HP:<http://piecepeacefesta.mikosi.com/>

決算報告書

【収入】

会費より		24500
学生天国での収入		2000
八王子市学生企画事業補助金		50000
企業からの協賛	10000 円×4 口	40000
前売券	500 円×100 枚	50000
当日券	500 円×43 人	21500
合計		188000

【支出】

会場費	交流ホール	31000
	机	200
	照明セット	8000
	ビデオプロジェクター	5000
	場内拡声装置	6000
	ギターアンプ	2000
	マイク	8000
	展示室	7550
	第2会議室	2300
リハーサル	交流ホール	5000
	第2会議室	2300
広報費	ポスター・チラシ印刷	26100
	パンフレット印刷	2500
	チケット印刷	315
	道路使用許可	2100
企画費	音楽部門	2475
	国際協力部門	4752
合計		115592

【募金額】

【収入】－【支出】	(188000-115592)円	72408
募金箱	会場と展示室に設置	33764
合計		106172

(円)